

原子力防災訓練の企画、実施及び評価のためのガイダンス の策定について

平成 30 年 3 月 20 日
内閣府（原子力防災担当）

1 趣 旨

平成 27 年 3 月に取りまとめられた「3 年以内の見直し検討チーム」の第二次報告では、地域原子力防災協議会（以下「協議会」という。）において、訓練を通じた PDCA サイクルを導入することとしており、これについて国際原子力機関（IAEA）が公表している訓練のガイダンスを参照し、具体的な仕組みを整備することとされた。

これを踏まえ、内閣府として、道府県が主体となる訓練（国等が関与する訓練を含む。）の基本的な指針として「原子力防災訓練の企画、実施及び評価のためのガイダンス」（以下「訓練ガイダンス」という。）を策定するもの。

2 対 象

本訓練ガイダンスは、道府県が実施主体となる訓練を対象

3 内 容

- （1）協議会において確認した「緊急時対応」の検証や充実を目的として、道府県が実施する訓練の基本的な指針
- （2）国際原子力機関（IAEA）の示す訓練のガイダンスを参照し、事前準備から教訓の抽出、フォローアップまでの訓練全般について記載
- （3）以下、具体的な内容

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">1．はじめに2．本ガイダンスの位置付け3．訓練の企画、実施及び評価に係る基本的考え方4．訓練準備の工程と準備体制5．総合訓練実施計画の策定6．訓練シナリオ等の設定7．訓練の管理及び評価8．訓練の振り返り、評価結果の共有等9．報道機関への対応10．おわりに |
|--|

原子力防災体制の充実・強化について(第二次報告)(抄)

平成 27 年 3 月 5 日
3年以内の見直し検討チーム

2. オフサイトの原子力防災対策に関する国と地方公共団体との連携強化

(2) ワーキングチームを核とする連携強化の方向性

訓練の実施を通じたP D C Aサイクルの導入

一方で、地域の防災体制の整備は、計画策定に終わるのではなく、継続的な改善・強化に取り組むことが重要である。このため、ワーキングチームにおいて、避難計画を含む緊急時対応の確認を行った地域については、現在のワーキングチームにおける緊急時対応の具体化・充実化の支援及び緊急時対応の確認(Plan)に加えて、確認を行った緊急時対応に基づく定期的な防災訓練の実施(Do)、訓練結果からの反省点の抽出(Check)、当該反省点をふまえた改善(Action)というP D C Aサイクルを導入する。防災訓練に関する新しい取組の導入に際しては、国際原子力機関(I A E A)が公表している訓練のガイダンスを参照し、当事者である道府県の意見を踏まえて、具体的な仕組みを整備する。

訓練の実施に際しては、前例に拘泥することなく、訓練の方法を継続的に改善し、実際上の課題発見や、緊急事態や想定外の事象への判断力・対応力向上に繋げていく。また、総合的な訓練を行うだけでなく、通信・連絡などの基本的な対応についても、訓練を通じて不断に検証し、改善強化を図る。

原子力防災訓練の企画、実施及び評価のためのガイダンス（概要）

□ 策定目的

我が国のこれまでの取組や実情を考慮の上、**原子力防災訓練の企画、実施及び評価までの訓練全般における基本的な指針**を示す。

□ 対象

道府県が実施主体となる訓練（国、市町村、実動組織、民間事業者等が関与する訓練を含む。）

□ 構成

- 全10章、30頁による構成
- 3・4章に基本的考え方等の概論を集約
- 5章～8章は、PDCAの流れに沿って企画立案、評価のポイントを整理

章	目次
1	はじめに
2	本ガイダンスの位置付け
3	訓練の企画、実施及び評価に係る基本的考え方
4	訓練準備の工程と準備体制
5	総合訓練実施計画の策定
6	訓練シナリオ等の設定
7	訓練の管理及び評価
8	訓練の振り返り、評価結果の共有等
9	報道機関への対応
10	おわりに

□ 主要な内容

□ 訓練の企画、実施及び評価に係る基本的考え方

- (1) 訓練の目的
- (2) 訓練の種類
- (3) 訓練の実施方法
- (4) 訓練項目
- (5) 訓練の評価 等

□ 訓練準備の工程と準備体制

- (1) 年度訓練実施計画の策定
- (2) 訓練準備組織の設置
- (3) 地域原子力防災協議会の枠組みの活用
- (4) 原子力防災専門官等との調整・連携 等

□ 総合訓練実施計画の策定

- (1) 訓練目的の設定
- (2) 訓練項目の設定
- (3) 訓練目標等の設定
- (4) 訓練日程、訓練実施場所の設定
- (5) 参加機関及び活動内容の設定
- (6) 緊急事態区分の設定 等

□ 訓練シナリオ等の設定

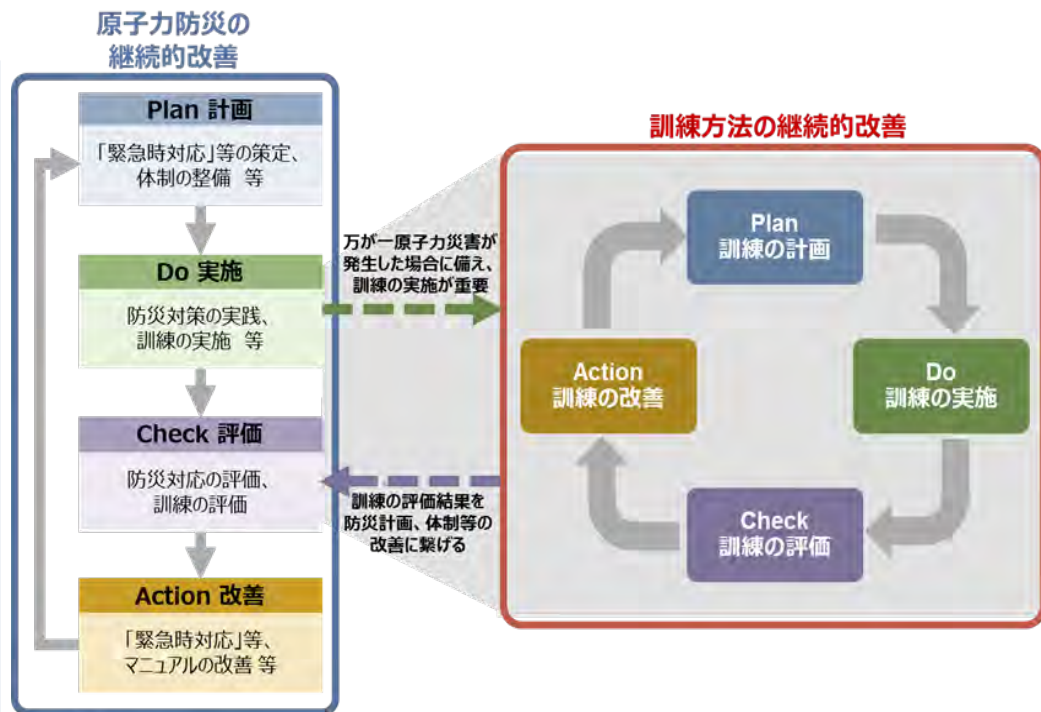
- (1) 訓練目的に沿ったシナリオの設定
- (2) 訓練に必要なデータの準備

□ 訓練の管理及び評価

- (1) 訓練の管理及び評価のための組織
- (2) 訓練管理の方法、訓練評価の方法 等

□ 訓練の振り返り、評価結果の共有等

- (1) 訓練の振り返り
- (2) 評価結果の共有・照会
- (3) 評価結果の整理・統合



区分	訓練の効果
研修	基礎知識の習得
図上訓練	計画の検証、危機認知・状況予測、状況判断・意思決定等に係る対応力の向上
反復訓練	個々の技能習得
機能別訓練	計画の検証、情報管理・指揮統制・意思決定等に係る対応力の向上
実動訓練	計画の検証及び手順確認、要員・資機材のリソース運用等に係る対応力の向上
総合訓練	計画の検証及び手順確認、情報管理・指揮統制・組織間連携に係る対応力の向上